

- 氏名 : 野村 幸正
- 会員番号 : PEN-0034
- 専門分野 : Mechanical
- 試験日 : 2009年4月 (受験回数1回)
- 勉強に用いた参考書・問題集



- ・Mechanical Engineering Reference Manual for the PE Exam
- ・Practical Problems for the Mechanical Engineering PE Exam
- ・Mechanical Engineering Sample Questions & Solutions (NCEES)
- ・101 Solved mechanical Engineering Problems
- ・EIT レファレンスマニュアル 日英対訳版
- ・Six-minute Solutions for Mechanical Pe Exam Hvac And Refrigeration Problems

○試験に用いた参考書・問題集

- ・Mechanical Engineering Reference Manual for the PE Exam (分割再編集版)
- ・自身で作成した参考資料 (公式、単位換算表など)
- ・英和辞書

・はじめに

私の勤務している会社では、FE を取得している社員が何名おり、米国のエンジニア資格である。FE に興味を持っていました。その頃、書店で「めざせ！ PE/FE」という本を購入し、PE/FE 試験というものがどのようなものかを知りました。元々、海外勤務に強い憧れがあったため、世界的に認知されているPE/FE 資格に魅力を感じ、2003年10月にFE 試験を受験、合格しました。しかし、その当時PE 試験を受験するためには、PE 取得者のレファレンスが必要な上、日本での受験が出来なくなるなどの事情により、半ばPE 試験受験は諦めかけていました。そんな中、JSPE からの情報により2007年より日本でも再び試験が開催される上、受験に際しPE のレファレンスが不要ということから、諦めかけていた目標に再びチャレンジする決意をしました。以下に、私が行った勉強内容など試験に関する情報を記載します。

・PE 試験の勉強方法

受験勉強期間は、2008年10月の試験後から約6ヶ月間という勉強期間でした。勉強にあたり、「PE 試験TIPS」を参考に、過去、試験に合格された方々の体験記をさせて頂きました。まず、レファレンスマニュアルおよび問題集を購入し、問題集を解いては、解法をまとめるという手法で勉強を始めました。しかし、受験までに残された時間、自分が確保出来る勉強時間を考慮すると受験までに全分野を網羅することが難しいと判断し、受験の4ヶ月程前に勉強方法を変更しました。それまでのレファレンスマニュアル中心の勉強方法から、NCEES 発行のサンプル問題集、101 Solved mechanical Engineering Problems を中心とした勉強方法に切替ました。これらの問題集を解き、各分野毎の出題される範囲、レベルを絞り込み効率良く勉強を進めることが出来ました。

また、専門分野については、Six-minute Solutions for Mechanical Pe Exam も利用し、同様に

題範囲の絞り込みを行いました。分野毎に、絞り込んだ内容について、参考問題と解法をまとめ、試験の際に検索が出来るよう1冊のファイルにまとめました。苦手な分野については、FE 試験で使用した日本語対訳版のEIT レファレンスマニュアルを使用しました。PEのレファレンスマニュアルとEIT レファレンスマニュアルには内容が一致している部分があり、苦手な分野の基本的な内容を理解するのに、日本語対訳版を使用しました。日本語版のため理解しやすく、苦手な分野を克服するには、良いと思います。

過去の受験体験記にも記載があるように、試験の大きなポイントになったのが単位換算でした。単位換算表は、問題集を解く課程で使用した換算を別紙にまとめ、各分野毎に試験の時に素早く探せるように自分なりの換算表を作成しました。この単位換算表が実際の試験で、大変役に立ちました。

・PE 試験時の対応

実際のPE 試験受験に際し、**最も使用頻度が高かったものは、自分で作成した分野別解法まとめノートと単位換算表**でした。レファレンスマニュアルは、小分けにし、分野ごとに表紙、背表紙を付けて参照しやすくしました。しかし、実際にはレファレンスマニュアルを参照する頻度は低く、一部苦手分野の問題でのみ使用しました。試験を受けた感想として、レファレンスマニュアルを頻繁に検索していると、1問6分で解かなければならないPE 試験は乗り切れないと感じました。問題を見て解法が思い浮かぶ、あるいは解法がどこにあるか、思い出せるというところまで、準備が出来ていないと、時間内に全問題を解くことは難しいと思います。

使用できる計算機については、今後受験される方は十分注意して下さい。私が受験した際に、使用可能な計算機を用意しておらず、計算機を使用できない受験生の方がいらっしゃいました。PE 試験を計算機なしで乗り切るとは大変困難だと思います。事前に使用可能な計算機を確認し、出来るだけ早めに購入されることをお勧めします。



写真.1 実際に使用したまとめノート

・最後に

今回、初めてのPE 試験受験で合格することができました。これも過去に苦勞して合格された先輩方がまとめられた「PE 試験受験TIPS」などがあったおかげで、多くの貴重な情報が得られ、効率よく勉強することが出来た結果だと思っています。次のステップとしては、PE 登録が待っています。PE 登録が出来て初めて、本当のPE になることができます。引き続き、グローバルに活躍することが出来るPE をめざし、諦めずにがんばっていきたいと思っています。